腸切除術を受けられる（　　）さま

主 治 医 は、小林・上山・岡林・竹原清・竹原祐　です
病 棟 師 長は、　　です
担当看護師は、　　です

経過	入院から前日まで （　／　）～（　／　）	手術当日（前） （　／　）	手術当日（後） （　／　）	術後1日目 （　／　）	2～3日目 （　／　～　／　）	4～7日目	14日目 （　／　）	21日目 （　／　）
目標	身体的・精神的に手術への準備が整う		痛みがコントロールでき、合併症なく過ごすことができる	呼吸や血圧が安定し、痛みがなく離床できる		感染症を起こすことなく経過し、社会復帰に向けた準備ができる		
安静度	病棟内自由です	深部静脈血栓症予防の弾性ストッキングをはいていただきます	・ベッド上安静です ・寝返りはできます ・血栓予防のために足を動かしましょう	腹圧をかけずに起きる練習を看護師が指導します	・最初の歩行は看護師が立ち会います ・歩行がスムーズにできれば弾性ストッキングは脱ぎます	病棟内自由です →	→	
食事	・特別な食事になるので病院食以外は食べないでください ・手術2日前は検査食になります ・前日は絶食です	・（　　）時まで水分がとれます 水や食事をとることはできませんが、うがいはできます				・主治医の指示で水分が飲めるようになります ・食事は主治医の指示で開始になります。 （重湯から始まり2日ごとに食事量が増えていきます）		
清潔	前日までｼｬﾜｰは自由にできます （点滴が入っている場合は、カバーをして入ります）	坐薬挿入後、ｼｬﾜｰしてください その後、手術着に着替えていただきます		体を拭きます	体を拭きます	抜糸まで適宜、体を拭きます	抜糸後、次の日からシャワーができます	
排泄			手術中に尿を出すための管が入ります →		尿の管は3日目に抜く予定です	医師の指示があるまで尿をためるか、メモをしていただきます		
検査	・鼻からばい菌がないか綿棒で検査 ・股の付け根から医師により採血 ・その他、医師の指示により検査があります		・手術後は15～30分ごとに血圧を測ります。その後は1～2時間ごとになります ・酸素マスク・心電図モニターがつきます	・検温は1日4回行います → ・酸素マスク・心電図モニターを医師の指示にてはずします ・採血と検尿とレントゲン撮影	術後3日目、7日目に採血、検尿があります	術後4日目に腹部レントゲンを行います	・手術後8日目からは検温は1日1回行います ・採血、検尿	採血・検尿
内服	・手術3日前より夜9時に下剤を飲んでいただきます ・手術2日前の朝8時に下剤を飲んでいただきます ・前日に下剤を飲んでいただきます ・前日の18時頃に胃薬を飲んでいただきます ・前日の21時に希望時のみ安定剤1錠を飲んでいただきます	6時に胃薬を飲んでいただきます				医師の指示があれば、手術前より内服されていたお薬をのんでいただきます		
点滴・注射	前日は絶食のため点滴があります	8時頃より病室で点滴を始めます	・24時間持続点滴になります （手術中に首から点滴のチューブが挿入されます） ・背中に痛み止めのチューブが手術中に入ります	→	→	医師の指示があるまで点滴を行ないます 詳しくは週間予定表で担当看護師にご確認ください		
処置	前日にへそをきれいにする処置をします	・手術部位と右太ももの除毛をします ・午前6時に坐薬を入れます ・鼻から胃管の挿入をします	手術中に創部にチューブが入ります	吸入を1日3回行います →		術後5日目まで ・術後7日目で背中の痛み止めのチューブを抜きます		
説明・指導	・看護師が手術前後の経過について説明します ・うがいをしていただきます	《必要物品》 ・タオル2～3枚 ・ティッシュペーパー1箱 ・水のみ ・義歯入れ（タッパー） （義歯のある方）	家族の方に手術結果を手術室で説明します	痛みがある時は、痛み止めを使いますので看護師におっしゃってください		食事開始前に看護師が食事の食べ方について指導をします 便秘にならないように気をつけましょう	退院が決まったら看護師が退院指導を行います	
その他	・主治医および麻酔科医が手術について説明します ・眠れないときは看護師にお知らせください					栄養士より栄養指導があります	証明書・診断書の必要な方は1階の医事課へ提出してください	

＊状態に応じて、予定が変更になる場合があります。ご不明な点がありましたら、おたずねください。

総合病院　三原赤十字病院　外科　2013年1月　修正
2014年4月　修正
2016年6月　修正